

## ～ 第6次留萌市総合計画意見交換会 ～

### 【開催概要】

- 平成28年7月21日（木） 13:00～14:31
- 市役所3号会議室

### 【出席者】

会議所青年部：

工藤会長（ヴォーグ）、森田（モリタ包装）、  
梅田（myu）、村上（ムラカミ整備工業）

座長：伊端委員

市：佐々木政策調整課主幹、江川政策調整課主査

\*\*\*\*\*

### 【資料】

第6次総合計画市民会議（案）たたき台及びパワーポイント印刷資料

### 【内容】

- ① 座長挨拶
- ② 市民会議案説明
- ③ 意見交換

#### 〔人口減少・移住定住〕

- 人口がなぜ減少していくのかその要因分析が必要で、働く場所がない、進学のため一度出たら帰ってこられない悪循環。
- ふるさと納税が熱くなっている。しかし、税金のみを考え、もともとの移住・定住が置き去りになってしまっているように思う。人が来る、住むことで税金があがり、お金が回っていく。
- こんなものがあるではなく、マックもない、何もなし、のどかなまちだということで、マッチングする人がいると思う。それと合わせて仕事の紹介ができればいい。
- 学力テストの公表で留萌管内の状況が悪いとなれば、来たがらない。

#### 〔市民参加〕

- 団体ではなく、一般市民を巻き込んでいく体制が必要。
- 実施計画の段階で多くの市民がかかわれることで、いろいろな意見も聞きやすいと思う。
- 総合計画では実際の動きが見えてこない。事業を進めるときに見えてくるもので、その事業の中で意見を聞けるような仕組みがあってもいいのではないか。

#### 〔観光〕

- 観光する場所は海しかない。温泉、宿泊を求めるお客様が多い、もったいないと言われる。
- 留萌の境界線がハート形である。人を呼び込めることを考えたい。開運町の「開運」、KAZUMOちゃんの「子宝」、「縁結び」、船場公園に愛の鐘、愛の椅子などの設置、関連商品開発も含め数の子商品も関連付けて売っていいのではないか。
- 冬に留萌に来られる方が、道路の雪山が危ない、排雪が行き届いていないという。危ないイメージを持たれている。最低限きれいにするだけで人は来るかもしれない。

#### 〔仕事・雇用〕

- 水産加工業は、昔は地元のお母さんたちであったが、今は中国人に変わってしまった。水産加工業が仕事、雇用頼みであって、外貨を稼いでもらう、地元雇用してもらうようなバックアップ体制は作れないか。
- まちの中心を決めることによって、公共事業の大義名分が付く。
- 今回「港」という文字が前面に出てきていないのではないか。港からの経済効果は大きい、難しいのが現実だと思う。しかし、最上位計画から無くなるのは、問題ではないか。